●JICA国内研修ゲンバ訪問記VOL.29　島嶼における自立を目指した地域資源活用による人づくり、地域づくり@小値賀・後編

OJAMA-SHIMASU

たけだみりこ　わたし　編集タキオカさん

EDITOR'S MEMO

1月号に続いて、長崎県の離島、小値賀町とJICA九州の連携による「島嶼における自立を目指した地域資源活用による人づくり・地域づくり」を紹介。大洋州のサモア、フィジーの研修員が、小値賀町の地域資源を活用した住民主体のまちづくりとそのための人材育成のノウハウを学ぶもの。コースリーダーの佐藤快信（よしのぶ）・長崎ウエスレヤン大学教授による地域開発の理論や小値賀町の概要の講義の後、小値賀町やその属島の大島で、住民と協働して、地域資源の情報収集や住民参加型の農村調査手法（PRA）の実習を行う。その講師はNGO「エデュケーショナル・サポート・センター（EdU）」と西川芳昭・名古屋大学准教授。そして調査結果を踏まえ、大島活性化のためのアクションプランを提案する。

私たちも大島で民泊しながら、2日間の実習の模様を取材。1日目（1月号参照）は、住民との信頼を深めるための参加型ツールとPRAの講義、島の子どもたちの協力を得てそのツールを使ったワークショップが行われた。2日目はPRAを用いた住民との協働ワークショップ。住民のニーズを踏まえ、地域資源や住民の力を生かしたアクションプランを策定、発表した。大島発展のための計画づくりに真摯（しんし）に取り組む研修員と、その具体的な内容に、住民から感謝の言葉が贈られ、開発途上国と日本の地域の双方に貢献できる国際協力の新たな可能性が感じられた。

たけだみりこ　漫画家。4コマ、ショート、料理漫画を中心に活動中。著書に『セイシュンの食卓』『異国のメシーる』『クッキング カンタンタン』『キッチンの穴』など。http://majop.com/Neji/